

なぜ、人との「距離」を取るのか？

皆さんは、人と人の物理的な「距離」が気になりませんか？
自分の周りの空間を必要以上に広く取る状況を見ての考察です。

《電車に乗る際に》

一昔前まで大阪では、電車の車内は3列で立つことができました。
座席(窓)を向いてそれぞれ1列、その間にもう1列の、計3列です。ところが、最近では、座席を向いて立つ人が座っている人との距離を取るため、中間の列に隙間がなくなり2列しか立つことができません。
なぜでしょうか？座る人が浅く腰掛けるので、足を前に投げ出していることも要因にあるのかもしれません。

ホームで電車を待つときにも、同じ現象が生じます。
最前列の人は、白線までの「距離」をたくさん取って並びます。一人、いや場合によっては二人入れそうな空間が空いています。その次の人は普通に並ぶ場合が多いのですが、時には、また「距離」をたくさん取って並びます。
『その空間に入りたい』という衝動に駆られる私は、イケナイ人でしょうか。
ちなみに、関西の場合、関東ほどきちんと整列して電車を待ちません。そんな状態で前を開ければ後ろが悶えるし、横にも広がるし、收拾がつかなくなります。

この現象、さすがに、ラッシュ時には見られませんが。

人(電車内)に限りません。
車間距離にも当てはまります。
赤信号で停車する際に車間距離をたくさん取って、信号待ちの間にチョットずつ前に進む車を見かけることも多くあります。

《本当に、なぜでしょうか》

一言でいうと、人との物理的「距離」を取りたいという気持ちの表れではないかと思うのです。「日々、ストレスの中に身を任せているので、移動のときくらいストレスを感じたくない。」という
ことで、「ここは自分の陣地だから、入って来るな！」と。

競争社会の縮図を電車の並び方に見る思いです。



いや、しかし、これは私の勝手な想像なので、ご当人からしたら「あほか。危険回避のためにきまっとるやないか。何言うてんねん。」と一蹴されてしまうかもしれません。
不測の事態に備えて周りを空けているのだと。
皆さんは、どう思われますか？

《もう一度、電車内では》

電車内で化粧をする女性や飲食する人も増えました。

詰めて座らないので、座席は小さな隙間だけです。おまけに、かばんを座らせています。
世代、年齢に関係ありません。年配女性でも平気で化粧していますし、おじいさんもパンをかじったりしています。ちょっとでも体が触れようものなら噛みついてきそうなおねえちゃんの前には、おばちゃんの大きな買い物袋。

「最近の若いもんは・・・」は、当てはらなくなりました。

風潮・・・ですか。

電車内は公共の場ではなくなりつつあるような気がします。

プライベート空間の集まり？

どこかから喧嘩の声が聞こえてきそうです。